

福島小だより

学校通信



めざす児童像：よく考え 心やさしい 元気な子
令和5年2月1日 第12号

甘楽町立福島小学校
校長 中島 剛

○「二月は逃げる」 ～今年度も残り2ヶ月、一日一日を大切に～

1月の終わりは強い寒波が日本列島を覆い、真冬らしい厳しい寒さの日々が続きました。今月4日は立春で暦の上では春を迎えますが、まだまだ寒い日が続きそうです。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

昔から「一月は行く」と言われ、ついこの前、新年を迎えたかと思うと、あっという間に2月になりました。「二月は逃げる」、「三月は去る」と言われ、時が経つのがさらに早く感じられます。子どもたちは今年度の残りの日々を大切に、学習のまとめや今の学年の思い出作りに取り組んでほしいと思います。

3学期始業式では、思いやりをもってほしいという願いから、今年の干支「兎」にちなんで、月で餅をつくウサギの昔話を話しました。サル・キツネ・ウサギの3匹が、山の中で倒れている老人に出逢い、その老人を助けるために、サルは木の実を集め、キツネは川から魚を捕ってきて老人に与えました。しかし、ウサギは、どんなに頑張っても何もとることができず、自らの身を食べてもらうことを提案しました。それを見た老人は、帝釈天（神様）としての正体を現し、ウサギの思いやりのある行動を後世まで伝えるため、ウサギを月へと昇らせたといわれています。この3匹のように、困っている人がいたら手を差し伸べられる人になってほしいと思います。

新型コロナの感染拡大はまだ続いています。学校では基本的な感染対策をしっかりとって、子どもたちの学びを止めずに、教育活動の充実を図っていきたくて考えております。

保護者の皆様には、今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。

○学校公開日 ～たくさんのご来校に感謝いたします～

今回の学校公開日は、3～6校時を授業公開しました。書き初め展もご覧いただきました。子どもたちの授業の様子はいかがだったでしょうか？タブレットを器用に活用したり、話をよく聞いたり発言したりして、活躍する場面が見られたことと思います。

授業をご覧になってのご意見、ご感想を何なりとお寄せください。



○書き初め大会 ～年の初めに心を落ち着かせて臨みました～

書き初めは、新年を迎え気持ちを新たに、文字の上達を願って書き記す、古くから伝わる伝統行事です。子どもたちは令和5年の初めに、気持ちを集中させて書き初めに臨みました。1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆で行いました。とめ、はね、はらいなど一文字、一画に集中して最高の1枚を完成させるために、丁寧に書いて仕上げました。

